

境界地域研究ネットワークジャパン (JIBSN) について

境界地域研究ネットワークジャパン (Japan International Border Studies Network) 略して JIBSN は日本の各境界地域の経験と交流をもとに、実務者と研究者との意見交換の場です。このネットワークを通じて、境界地域を活性化する様々なアイデアやプランが生み出されることを期待して2011年に設立されています。構成メンバーは大学等の研究者と境界地域の自治体で、現在の代表理事は前泊竹富町長です。JIBSN は議論のみならず、設立当初から与那国・台湾チャーター便運航、五島福江・済州チャーター便運航(2018年)など実践を伴う活発な活動をしており、今回も石垣島内ボーターツーリズム ツアーと有人の日本最南端の島・波照間島までのツアーもプログラムに組込まれています。

境界地域研究ネットワークジャパン <http://borderlands.or.jp/jibsn/>

境界地域研究ネットワーク JAPAN
Japan International Border Studies Network



JIBSNは、日本の各境界地域の経験と交流をもとに、実務者と研究者との意見交換の場として創設し、このネットワークを通じて、境界地域を活性化する様々なアイデアやプランが生み出されることを期待しています。またネットワークは日本国内の内向き議論に陥れず、渡洋する海外や近隣の境界地域研究ネットワークと広く接点を持ち相互に刺激し合いあついで、次世代に向けた国際的視野や地域活性化に活用することを目的としています。

事業活動の方向としては、

- (1) 国内外の境界地域に関する調査及び研究の企画、実施及び支援。
- (2) 境界地域の地方公共団体の交流、連携及び情報発信の支援。
- (3) 境界地域研究の成果の相互活用と共有化及び公開。
- (4) 境界地域の自立と活性化に寄与する遊学研修。
- (5) 人材育成のための連携及び協力。

なお併せて、これら活動を通じて境界地域の活性化が促進されることを期待し、その発展に寄与することをめざしてまいります。

JIBSNへの参画と取り組み

2007年9月	国際フォーラム(日本国際学会と那国大学)・東京・11月19日(那国大学)
2008年6月	国際フォーラム・特別セミナー(「渡洋40周年」を記念しての小笠原を巡る日) (那国大学)
2008年10月	国際フォーラム(小笠原・只倉・小笠原教育40周年記念国際会議)
2009年7月	北海道大学の地(「境界地域の自治体」) (北海道大学)
2009年10月	北海道大学(「日本の国際化」)
2009年12月	国際フォーラム(「日本の国際化」)
2010年1月	「日本の国際化」(「日本の国際化」)
2010年9月	国際フォーラム(「日本の国際化」)
2010年11月	国際フォーラム(「日本の国際化」)
2011年4月	JIBSN設立1周年記念フォーラム(「日本の国際化」)
2011年9月	国際フォーラム(「日本の国際化」)
2011年10月	「日本の国際化」(「日本の国際化」)
2011年11月	「日本の国際化」(「日本の国際化」)

JIBSNの活動 2012~2013

2012年2月12-17日	小笠原トリート
2012年6月20-31日	種内セミナー・サハラリトリート
2012年9月10日	国際「くにざかい」フォーラム IN 那国(協力)
2012年11月13-16日	ETH XII-2012 福岡・釜山大会(共催)
40th Anniversary 2013	JIBSN主催「JAPAN SPECIAL」を開催
2012年12月18日	エトワカ文庫・小笠原(那国)開設セミナー
2013年1月12日	第502回沖縄大学士権教養講座(協力)
2013年1月13日	沖縄大学移動市民大会(協力)
2013年1月22日	JIBSN設立一周年記念シンポジウム

<http://src-hokudai-ac.jp/jibsn/application.html>

以上 (伊豆芳人)